

電子音響音楽フェスティバル

Audio Art Circus 2006

電子テクノロジーを用いた電子音響音楽(ミュージック・コンクレート/アコースマティック、電子音楽、映像付音楽作品、コンピュータ音楽など)を学ぶ学生とそこで教育にたずまっているアーティストの作品のコンサートを開催します。上演作品はすべて、大阪芸術大学の誇る半球形状のドームに設置した多次元立体音響装置「アコースモニウム」でライブ演奏され、生き生きと空間化されます。また、この分野の古典的名作を紹介するレクチャー・コンサートや国内で唯一のアコースモニウム演奏レッスンなどの企画もあります。



写真:大阪芸術大学アコースモニウム

大学/大学院交流コンサート

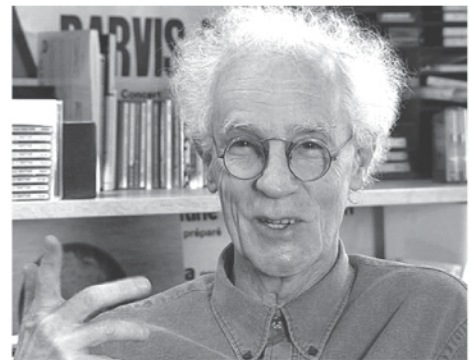
- 12月1日(金) 13:30～ 学生作品コンサート1
17:00～ 学生作品コンサート2
12月2日(土) 14:30～ 学生作品コンサート3
15:30～ 学生作品コンサート4
16:40～ 教員作品コンサート

参加校

大阪芸術大学/大学院/通信教育学部、九州大学大学院、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学/大学院、東京電機大学、同志社女子大学、山梨大学、フランス国立ペルピニャン地方音楽院

出品教員

上原和夫(大阪芸術大学)、柴山拓郎(東京電機大学)、中村滋延(九州大学大学院)、葛西聖憲(同志社女子大学)、檜垣智也(大阪芸術大学、同志社女子大学)、宮木朝子(洗足学園音楽大学)、由雄正恒(昭和音楽大学)、吉原太郎(山梨大学、昭和音楽大学)、ドニ・デュフル(フランス国立ペルピニャン音楽院)



フランソワ・ベル François Bayle(仏、1932)

作曲家、INA-GRMフランス国立視聴覚研究所音楽探究グループ前ディレクター(1975-1997)

1974年にアコースモニウムによる最初のコンサート行う。また Syter、Midi Formers、GRM Tools、Acousmonographeの開発を手掛け、デジタル技術を利用した電子音響音楽の発展に大きな貢献をする。1997年にGRMを辞め、同年彼のための創作スタジオMagisonを設立し、現在も旺盛な創作を行い、世界中から注目されている。

関連企画

□レクチャー・コンサート

12月1日(金) 15:00～16:30

レクチャーとアコースモニウム演奏:檜垣智也(大阪芸術大学、同志社女子大学)

- ・テーマ:「フランソワ・ベルのアコースマティック音楽」
- ・上演作品:「とても緩やかな地震 Tremblement de terre très doux」(1978)
「音・光速 Son Vitesse-Lumière」(1983)より第三章
(2作品とも日本初演)

□アコースモニウム演奏公開レッスン

12月2日(土) 11:00～12:30

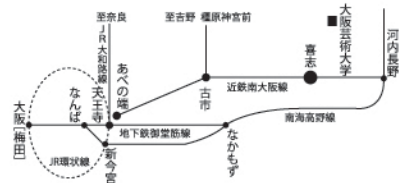
- ・講師:檜垣智也(大阪芸術大学、同志社女子大学)
- ・受講生:和泉雅弘(大阪芸術大学)、竹内昭彦(東京電機大学)
- ・課題曲:上原和夫「Assemblage 2004」

大阪芸術大学

〒585-8555 大阪府南河内郡河南町東山 469

Tel:0721-93-3781(代表)

ホームページ: <http://www.osaka-geidai.ac.jp/>



喜志駅よりスクールバス(無料)10分

お問い合わせ

大阪芸術大学音楽学科

E-mail: ongaku@osaka-geidai.ac.jp

主催:大阪芸術大学音楽学科

協力: Magison, INA-GRM, MOTUS

公式ホームページ: <http://www.musicircus.net/aac/>